

## 第3回 田子・余目地区 地域交通検討会を開催しました

令和5年10月20日(金)田子市民センターにて、検討委員・専門家・仙台市を含めた総勢20名による「第3回田子・余目地区地域交通検討会」を開催しました。

検討会では、同年9月12日(火)～9月14日(木)の間で実施したグループインタビューの調査結果を共有し、当該インタビューを踏まえた地域交通の運行イメージ(修正案)について議論しました。

### ■検討会での主な議論等

- 通勤・通学では既存のバスを使用する。日中は地域交通を使用する。それぞれの役割をすみ分けて考えていくが、そもそもバスが走っていない地域などは移動に困らないように地域交通を考える必要がある。
- 朝・夕の利府街道や国道45号線の渋滞などにより、運行時間が遅れることが考えられるので、想定している運行ルートを実際に走ってほしい。
- 小まめに走ることも大切だが、利用者目線でのわかりやすさも大事ではないか。



第3回検討会の様子

## 地域に最適で持続可能な交通網の実現に向けて

### 田子・余目地区地域交通検討会 副会長 高山 卓男

田子南町内会の会長、高山と申します。先月、当地区で運行している市営バス「余目線」の営業係数(100円の収入を得るのにかかる経費)は“1,260”と、令和4年度においてワースト2(21年度はワーストワン)の赤字であり、特に厳しい状況であると、新聞やテレビなどで報道がありました(営業費用が24,025千円、営業収入が1,907千円で22,118千円の赤字)。

路線バスを継続的に利用するのはもちろんのこと、そこに“地域交通”という移動手段を加えることで、当地区でも将来にわたって安心して住み続けられると考えております。

今後も地域交通の導入に向けて検討を進めてまいりますので、引き続き、地域住民の皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ

■運営主体：田子・余目地区地域交通検討会

■支援機関：仙台市都市整備局 地域交通推進課

電話：022-214-8359 FAX：022-211-0017 Mail：tos009180city.sendai.jp

